



【学校教育目標】進んで学ぶ子 仲よく協力する子 健康でねばり強い子

高倉小だよい

笑顔いっぱい 喜びが得られる 地域の中にある学校

令和6年7月②

児童数239名



ほめるということ

校長 武田 功一

本日で、1学期が終了します。お子さんを元気よく学校へ送り出していただいた保護者のみなさま、雨の日も暑い日も登下校の見守りをしていただいたり、見学等で快く引き受けていただいたりした地域のみなさま、学校環境に潤いを与えていただいた学校応援団のみなさま、本校に関わるすべてのみなさま、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

今日、子どもたちは1学期の通知票「のびゆく子」を持ち帰ります。「のびゆく子」は、学校での子どもたちの様子をお知らせし、家庭でのお子さんへの指導資料にしていただくものです。お子さんと一緒に「のびゆく子」をご覧いただき、1学期の成長を認めていただけたらと思っています。

さて、どのようにお子さんの成長を認めていけばよいでしょうか。「子どもをほめて伸ばす」ということをよく聞きます。一方で、アドラー心理学では「子どもはほめないことが大切」と言われています。どちらが正しいのか私にはよくわかりません。いずれにせよ、どのようにほめるかによって子どもの受け取り方が違うのだと思います。具体的に考えていきましょう。

ほ
め
方
①

- 「『よくできる』がたくさんあってすごいね！」
… 「よくできる」がたくさんないとほめてもらえないのかな？
- 「テストでもう少し良い点が取れれば、もっと良くなるんじゃないの？」
…自分としては、かなりがんばったんだけどな。
- 「〇〇さんに負けないようにね！」…人と比べられても。

ほ
め
方
②

- 「毎日、家庭学習を忘れずにやっていたもんね！」
- 「4月に立てた目標が達成できたね！」
- 「毎月本を3冊読んでいたから、国語でその成果が出ているね！」
- 「先生は、掃除を一生懸命頑張ったと書いてくれているよ。みんなのために進んで働くところが、あなたのいいところだね。」

「ほめ方①」と「ほめ方②」では、どちらが子どもの心に響くでしょうか。自分のことをわかってくれている、自分が思ってもいなかつたことを認めてくれると、子どもはこの上なくうれしい気持ちになり、次へのステップにつながります。こんなほめ方をしてはいかがでしょうか。

- 結果ではなく、努力やプロセス（過程）を認める
- 満点を求めすぎない
- 人と比べない
- できないことでなく、できるようになったことに注目し、認める
- 同じ人間として共感し、励ます

そのために、「のびゆく子」と一緒に見ながら、お子さんに質問してみましょう。「1学期で1番頑張ったことはどんなこと?」「好きな教科は何?」「どんな夏休みにする?」「2学期はどんな自分になっていたい?」など。お子さんの答えに対して、親である「私は」を主語にしてお子さんを認め、励ましてあげてください。

夏休み中のリーバーによる健康観察

○夏休み中のリーバーによる健康観察の報告は行わなくて結構です。ご家庭で、お子さんの健康状況の把握を行ってください。ただし、2学期が始まる前の週の8月22日(木)からは、リーバーによる健康観察の報告を行ってください。

夏休み中のタブレット端末の扱い

○タブレット端末を持ち帰らせます。家庭学習に有効活用してください。使用に際し、以下の点にご留意ください。

- 1 タブレットは学習のみに活用します。
- 2 動画の長時間視聴など、通信量を大量に使わないようしてください。
- 3 20:00~6:00は使用時間に制限がかけられています。
- 4 ご家庭で、約束事を決め、使用状況の見届けをお願いします。
- 5 ACアダプタ、充電コードの紛失にご注意ください。紛失されると、保護者による負担となっております。



今年度の水泳の学習



○今年度は、豊岡にあります「コナミスポーツクラブ入間」にご協力いただき、水泳の学習を行うことになりました。指導はコナミスポーツクラブの指導員に指導していただきます。

○期日…9月4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)

*詳細は、水泳の学習に関するお手紙を参照ください。

関屋教諭の勤務について

○これまで育児休業中だった、工藤 恵里加 教諭が8月より職務復帰となります。それに伴い、関屋 令子 教諭の本校での勤務が7月末で終了となります。これまでのご支援、ご協力ありがとうございました。

硬筆展 県中央展優良賞

- 1年 高畠 歩乃花 さん
3年 館野 愛佳 さん
5年 沼田 進太郎 さん

